

個別避難計画作成に向けたチェックシート

●●年●●月●●日 作成

■本人の基礎情報

基礎情報	氏名	若草 太郎		
	性別	☒ 男	☐ 女	
	血液型	☐ A型	☐ B型	☒ O型 ☐ AB型
	生年月日	大・昭・平・令 ●●年 ●●月 ●●日		
	住所	関市 若草通3丁目1番地		
	自治会	若草 自治会		
	電話番号	☒ あり (●●●● - ●● - ●●●●)	☐ なし	
	携帯番号	☒ あり (●●● - ●●●● - ●●●●)	☐ なし	
FAX番号	☐ あり (- -)	☒ なし		
避難支援を必要とする理由	☒ 75歳以上のみ世帯 ☒ 要介護3以上 ☐ その他 () ☒ 身体手帳1～2級 ☐ 精神手帳1～2級 ☐ 療育手帳A～A2判定			

■住まいの状況と災害リスク

住まい	住まいの種別はどれですか？	☒ 戸建住宅 ☐ 集合住宅
	住まいはどのような構造ですか？	☒ 木造 ☐ 鉄骨・鉄筋
	住まいの建築時期はいつですか？ ※1981年（S56年）に新耐震基準が適用されたため	☐ 1980年（S55年）以前 ☒ 1981年（S56年）以後
	家具の固定はしていますか？	☒ 可能な限りしている ☐ していない
災害リスク	住まいの土砂災害のリスクはどれに該当しますか？ ※①・②でチェック	☐ レッドゾーン（建築物の損壊や住民の生命に多大な影響を及ぼす地域） ☒ イエローゾーン（土砂災害の可能性が予想される地域） ☐ 自宅は安全 ☐ 分からない
	住まいの浸水のリスクはどれに該当しますか？（L1：計画規模降雨） ※①・②でチェック	☐ 0.5m未満（床下浸水） ☐ 0.5～3.0m未満（1階部分が水没） ☐ 3.0m以上（2階部分が水没） ☒ 自宅は安全 ☐ 分からない
	住まいの想定最大震度はどれに該当しますか？ ※①・③でチェック	☐ 震度5強 ☐ 震度6弱 ☒ 震度6強 ☐ 震度7 ☐ 分からない
	住まいの液状化発生の可能性はどれに該当しますか？ ※①・③でチェック	☐ 高い ☒ ある ☐ 低い ☐ 極めて低い ☐ 判定が不要 ☐ 分からない



個別避難計画作成に向けたチェックシート

記入例

■本人の状況

本人の状況	在宅時に過ごしている部屋はどこですか？	☒ 日中 (1階リビング) ☒ 夜間 (1階寝室)
	自分で移動はできますか？	☒ 歩ける ⇒ 杖 (有・無) 歩行器 (有・無) 自力での2階移動 (可・不可) ☐ 歩けない ⇒ 車いす (有・無)
	自分で助けを呼ぶことができますか？	☐ できる ☒ できない
	視力はどうですか？	☒ 見える ⇒ メガネ (有・無) ☐ 見えない ⇒ メガネ (有・無)
	聴力はどうですか？	☐ 聞こえる ⇒ 補聴器 (有・無) ☒ 聞こえない ⇒ 補聴器 (有・無)
	食事はどうですか？	☐ 介助なしにできる ☒ 介助が必要 ⇒ (持続ポンプが必要)
	排泄はどうですか？	☐ 介助なしにできる ☒ 介助が必要 ⇒ (おむつが必要)
	医療機器は使用していますか？	☒ あり⇒ (名称：人工呼吸器、パルスオキシメーター、吸引器) ☐ なし
	上記以外で配慮すべきことはありますか？	医療機器の電源が必要、寝たきり、コミュニケーションができない
	福祉・医療サービス	身の回りに福祉専門職はいますか？（ケアマネジャー、相談支援員など）
福祉サービスは利用していますか？（介護サービス・障害サービスなど）		☒ あり⇒【事業所名： ●●テイスサービス】 ☐ なし【内 容： 介護サービス】
かかりつけの医療機関はありますか？（クリニック・病院など）		☒ あり⇒【機 関 名： ●●●●●病院】 ☐ なし

裏面の記入もお願いします

■避難支援者

連絡先・同居者	災害時の緊急連絡者 … 鈴木 太郎		近隣支援者	近隣支援者	
	緊急連絡者の住所 … 関市若草通2丁目1番地			☒ 近所付き合いがある↓下記へ記入 ☐ ほとんどない	
	緊急連絡者の連絡先 … ●●● — ●●●● — ●●●●				
	同居者				
	☒ 有 ↓下記へ記入 ☐ 無				
	①氏名・関係性	鈴木 太郎・子	②氏名・関係性	鈴木 和子・子の妻	
	①連絡先	●●● — ●●●● — ●●●●	②連絡先	●●● — ●●●● — ●●●●	
			①氏名・関係性	高橋 花子・近所の友人	
			②氏名・関係性	田中 鮎子・近所の親せき	

■具体的な避難方法 ※水害・土砂災害が安全でも、地震の被害も想定する必要があります。

避難方法	(水 害) 避難先はどこですか？			
	☒ 自宅 … (判断基準:浸水エリア外・浸水エリア内だが、浸水深が3.0m未満で2階部分に避難すれば安全が確保できる)			
	☐ 自宅外 ⇒ () ※記載例:水害の危険性がない親戚・友人宅など			
	(土砂災害) 避難先はどこですか？			
	☐ 自宅 … (判断基準:土砂災害警戒区域外・イエローゾーン内に位置しているが、建物が鉄骨(鉄筋)造)			
	☒ 自宅外 ⇒ (土砂災害の危険性がない親せき宅) ※記載例:土砂災害の危険性がない親戚・友人宅など			
	(地 震) 避難先はどこですか？			
	☐ 自宅 … (判断基準:1981年(S56年)以降に建築された建物に居住・耐震補強がされた建物に居住)			
	☒ 自宅外 ⇒ (土砂災害の危険性がなく、耐震補強がされている親せき宅) ※記載例:近所の公園や耐震補強がされている親戚宅など			
	自分自身でどの範囲まで避難準備をすることができますか？※避難支援を円滑に行うため、要支援者ご自身もできる範囲で避難準備をお願いします。 例:自分自身で非常持出品を準備できる、物は持てないが安全な場所まで避難できるなど			
蓄電池などの備えはしている。非常持出袋を玄関に置いてあるので、すぐに避難ができる。				
避難の際、避難支援者による支援を必要としていますか？				
自宅内に留まる場合				
☒ 支援が必要↓下記へ記入 ☐ 支援は不要 ※自宅内に留まる場合の支援例(2階への階段の昇り降りなど)				
支援者①		鈴木 太郎	支援者②	鈴木 和子
支援内容		蓄電池などの備えはしているが、停電が長い間続いた際は、医療機器の電源が必要。		
自宅外に避難する場合				
☒ 支援が必要↓下記へ記入 ☐ 支援は不要 ※自宅外への避難の支援例(車イスを押す、荷物を持つなど)				
避難先		親せき宅	避難手段	☒ 車 ☐ 徒歩 ☐ その他 ()
支援者①		鈴木 太郎	支援者②	鈴木 和子
支援内容		蓄電池などの備えはしているが、停電が長い間続いた際は、医療機器の電源が必要。		